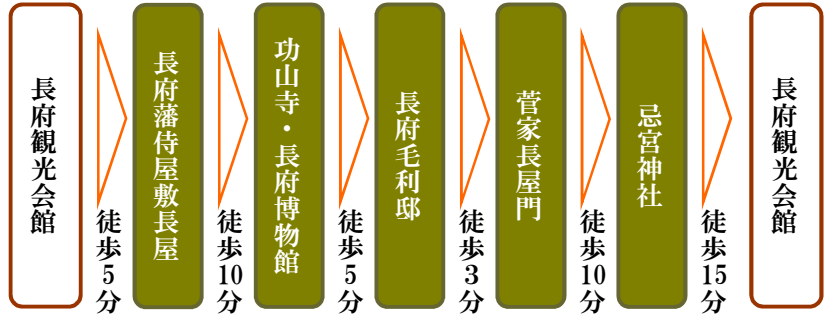


城下町 長府（下関市）

功山寺など高杉晋作ゆかりも多く
今も城下町の雰囲気を残す長府を散策

長府藩5万石の城下町で、武家屋敷の門、長屋、練塀や石垣などが今も残り、当時の面影を偲ぶことができます。



1 長府観光会館

城下町長府散策の出発点で”ふく”がテーマの観光物産店。とらふくの刺身やふくの加工品は品揃えも豊富で、その他下関名産のうにや鯨をはじめ、日本海の水産加工品を多く取り揃えており、その他旅のお土産もたくさんあります。

携帯ガイドプレーヤー貸出
料金：400円/1日



2 長府藩侍屋敷長屋

長府藩家老格であった西家の分家の本門に付属していたものを移設したものです。江戸後期の上級武家長屋の遺構です。



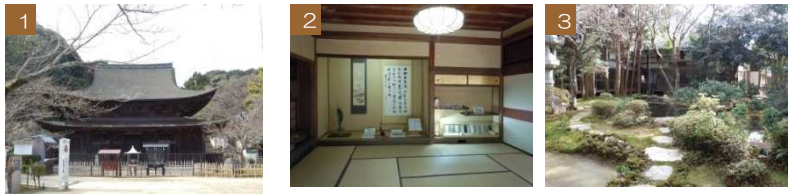
3 功山寺

大内義長の最後や維新の扉を開いた高杉晋作の挙兵など歴史的事件の舞台となった古刹



功山寺山門

4 下関市立長府博物館



1 功山寺 仏殿（国宝）

桁行・梁間とも三間、一重入母屋の屋根に裳階（もこし）がついた檜皮（ひわだ）葺の二重屋根の建物です。内部の柱に「此堂元応二年（1320にあたる）卯月五日柱立」と記されていることから、鎌倉時代の建築とされています。建築年代のはっきりしている禅宗様建築では、この仏殿が日本最古のものです。

2 功山寺 七卿潜居の間

文久3年三条実美ら尊攘派の公家は、京都を追われ長州に落ちのび、七卿のうち五卿がこの書院に潜居。

3 功山寺 庭園

七卿潜居の間より庭園を望む

■功山寺 七卿潜居の間

料金 大人300円、中・高校生100円

小学生以下無料

時間 9:00～16:30

■長府博物館

入館料：大人200円 大学生100円（18歳以下無料）※企画展は別

開館時間：9時30分～17時（入館は16時30分まで）

休館日：月（祝日の場合は開館）、祝日の翌日、年末年始、展示替えの期間

TEL：083-245-0555

明治維新関係の資料

長府毛利家遺品や幕末維新関係資料などが見どころ。また、坂本龍馬直筆の手紙や愛用品なども収蔵されています。

□龍馬愛用の飯碗と湯呑み

□新政府綱領八策

□龍馬の遺言状

三吉慎蔵に宛てて記した遺言状。
お龍の後事を託す旨が記されています。

5 長府毛利邸

明治36年長府毛利家第14代藩主毛利元敏によって建てられた邸宅。邸内の池泉回遊式庭園は石灯笼、楓、池など絶妙な空間を演出しており、紅葉の名所でもあります。お茶のサービスもあるので長府散策の祭に、休憩所として利用出来ます。

料金 大人200円、中学生以下100円

開園時間 9:00～17:00(最終入場16:40)

休園 年末年始



6 菅家長屋門

菅家は、長府藩初代藩主秀元の頃から、医術・学問で仕えた家で現在残されている長屋門の規模からもその権威がうかがえます。



7 忌宮神社

仲哀天皇・神功皇后が西国平定の際、7年間滞在した土地と言われています。毎年8月に行われる“数方庭祭”は、1800年の歴史を持つ「天下の奇祭」として有名。



※ 掲載情報は、平成23年2月時点です。